

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 岡山県岡山市立西小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒 700-0964
岡山県岡山市北区中仙道一丁目18-20

E-mail nishis@city-okayama.ed.jp

Website http://www.city-okayama.ed.jp/~nishis/

児童生徒数 男子 621名 女子 593名 合計 1214名
児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

○田んぼの観察とクリーン作戦

- ・平成28年5月2日(月)
- ・学校の田んぼ(中仙道公園北東の田)
- ・西小学校第5学年児童207名
- ・田んぼの様子を観察や、田んぼの草抜きやごみ拾いを行った。



○田んぼの学校打ち合わせ

- ・平成28年5月18日(水) 西小学校視聴覚室
- ・西小学校職員, 今幼稚園職員, 地域の方, JA職員(約30名)
- ・田んぼの学校事業の年間計画を話し合った。

○どろんこ体験

- ・平成28年6月20日(月) 学校の田んぼ
- ・西小学校第5学年児童207名
- ・田植え直前の田んぼに入り、遊びながらどろんこになる体験をした。



○田植え体験

- ・平成28年6月23日(木) 学校の田んぼ
- ・西小学校第5学年児童207名, 西小学校職員
地域の方 JA職員 ボランティア保護者
- ・田植え体験をした。
- ・バケツ稲を始める



○稲の成長観察

- ・平成28年6月~9月 学校の田んぼ
- ・西小学校第5学年児童207名
- ・稲の成長を観察した

○社会科「米作り」の学習

- ・7月~各学級において米作りの学習を行い、苦労や工夫について考えを深めた。

○かかしを作ろう

- ・平成28年9月
- ・西小学校第5学年児童204名
- ・各学級ごとにテーマを決めたかかしを作り、田んぼに設置した。



○稲刈り体験

- ・平成28年10月21日(金) 学校の田んぼ
- ・西小学校第5学年児童204名
- ・JA営農センターの方々によるコンバインでの刈り取りを見せて頂いた後、一株一株かまを使って稲を刈り取った。機械と人の手による作業の違いや働くことの苦労や工夫を考える機会となった。

○田んぼの学習発表会

- ・平成28年11月11日（金）各教室
- ・西小学校第5学年児童204名 保護者
- ・「田んぼの学校」での体験活動をきっかけに、図書資料やインターネットを使って調べたり、実際に地域に足を運んで調べたことを各学級でまとめ発表した。



○ライスパーティー

- ・平成28年12月1日（木） 体育館・家庭科室
- ・西小学校第5学年児童204名 西小学校職員
地域の方 JA職員
- ・田んぼの学校に関わってくださった地域の方に稲作について調べたことを発表したり、収穫したお米を炊いておにぎりにしたり、みそ汁を作って食べて頂いたりして感謝の気持ちを伝えた。



田んぼの学校の体験活動を通じて、自分たちが毎日食べているお米が、身の回りの多くの方々によって育てられ、実るまでの過程に多くの苦労があることに気づく児童が多かった。また体験を通して課題を見つけ、課題解決のために図書資料やインターネットを活用して積極的に調べる姿勢が見られるようになった。同時に地域のありがたさに気付くとともに、地域の方への感謝の気持ちをもつことができた。そして、自分たちの地域について調べる活動を通して、自分たちの住んでいる地域のよさや問題点を発見し、将来あるべき姿を考えることができた。自分たちの住んでいる地域社会へ参画する資質や態度が少なからず身についたと考えられる。

本年度は、年度当初からの調査活動を始める時間がなかなか取ることができなかった。稲の成長の過程を季節の移り変わりとともに計画的に観察したり、用水にすむ生き物等の調査がしやすい環境をととのえたりしていきたい。また地域の方にインタビューする機会を設けることが難しかったので工夫して取り組んでいきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）